

秘密保護法は廃止しよう

画期的な三会派共同声明

なにが秘密なのか秘密…県民の不安の声をよそに参議院で秘密保護法の採決強行が迫っていた12月6日、県議会の民主党無所属の会と社会民主党と共産党の3会派は共同で「特定秘密保護法の廃案を求める共同声明」



を発表しました。夕刻には浦和駅で3会派合同宣伝行動も行いました。用意した共同声明100枚があつという

まになくなり、県民の危機感の強さを感じました。翌日の緊急昼休みデモには500名が参加し、私ともに歩きました。秘密保護法は可決されましたが、県民のエネルギーの大きさを実感した出来事でした。これからも他党、他会派、県民のみなさんと共同して廃止を勝ち取りましょう。



東川 崩れた護岸 改修へ



昨年の豪雨で東川北野地区の護岸が崩れてしまいました。地元北野地域からの要請で川越県土整備事務所に補修を求めました。現在測量と設計に入っています。今年度中に工事業者が決定する予定です。

一刻も早い工事完了のために、これからも働きかけて行きます。



柳瀬川半立橋の改修・改良にも取り組んでいます。



10月所沢航空記念公園運動場の人工芝等の整備を求める4市長の申し入れに同席



11月所沢診療所開設60周年記念の健康まつり



山口地域のみなさんと現地調査



やぎした礼子

東北福祉大学社会福祉学部卒。医療ソーシャルワーカーとして所沢診療所勤務。所沢市議(2期)を経て埼玉県議(5期目)。党県議団長

ブログ <http://yrblogjcp.blog39.fc2.com/>
Email: r.yagishita@y8.dion.ne.jp

埼玉県議会議員

やぎした礼子の県政だより

県議会 12月定例会特集 発行 2014年冬

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 埼玉県庁内
TEL048 (824) 3413 FAX048 (825) 1048
<http://jcp-saitama-pref.jp/>



2014年 いのちを守る県政に

激動の中で新しい年を迎えました。安倍政権の暴走―秘密保護法、「海外で戦争する国」づくり、靖国参拜、沖縄新基地、原発、アベノミクス、TPP―が国民、世界との矛盾を劇的に拡大させています。今年、みなさんと一緒にこうした暴走と対決する決意です。
柳下礼子

志を持った人を集めたい 目と目を合わせ、思いを伝えて

一昨年、医師の退職によって周産期医療(胎児・新生児と母体医療)が休止していた西埼玉中央病院。安心して出産がしたいというお母さんたちの願いに応え、周産期医療再開に向け、まず、産科が再開しました。情熱をもって医師確保にとりくむ、成宮学病院長にお話を伺いました。

昨年5月に着任された時期に、小児科2次救急医療体制(夜間や休日の小児の入院が必要な医療)が医師の病気などで存続が危ぶまれる事態に。院長の精力的な活動で国立成育医療研究センターから医師の派遣が実現し、2次救急が存続します。昨年9月には産科医が一人、1月中旬からまた一人着任が決まっています。医師確保の影に病院長や事務部長の大変なご苦労がありました。

大学医学部や国立病院機構の本部などを訪問

「足で歩かないと。相手と、目と目を合わせ、思いを

伝えます」「志を持った人を集めたい。公立病院の使命を伝え共感してくれる人に来てもらう」熱く語ります。

自身は内科医として診療を行い、糖尿病が専門です。しかし大学医学部や国立病院機構を直接訪問し、1か月で250枚もの名刺を配ったことも。

一方、「院長はゼネラルマネージャーです。みんなが働きやすい場を提供する役割。やめたくない病院を作りたい。働いている中で生きがいを感じられることが大切」そう強調されました。

私も、これまで医学生の奨学金など要求し実現してきましたが、ここで働きたいと思える埼玉医療の魅力伝えることが大切だと、県議会の委員会でも強調してきました。院長と心はぴたりと通じ合いました。



(独)国立病院機構 西埼玉中央病院 成宮学病院長

ここまでやるの?? 生徒の感想文までチェック

埼玉県議会文教委員会の教育への政治介入の執拗さ

12月16日、17日の埼玉県議会文教委員会（村田琢実委員長）では、自民、刷新など一部の委員が県立朝霞高校の修学旅行の平和学習について「贖罪意識を植え付けるものだ」などと執拗に追及。修学旅行のしおりや全生徒の感想文などを資料要求しました。

党県議団は「委員が感想文の内容まで踏み込んで審議

したことは生徒の内心の自由を侵すものであり、断じて容認できない」と談話を発表しました。

これに先立つ9月には、県教育委員会が「日の丸・君が代」問題で「一部の自治体に強制の動きがある」と記述した実教出版の日本史教科書を採択したことを問題視し、2回にわたる閉会中審査をおこなっていました。



修学旅行のしおりも、チェックの対象に

生徒の気持ちとかみあわない審議

台湾修学旅行から帰った娘は「台湾の人たちは日本人にやさしく、修学旅行の経験はとてもよかった」と楽しく語ってくれました。「生徒に反日的な話を聞かせた」などと言って、生徒の感想文を原文のままチェックするような県議による干渉は、教育の現場で生徒が多面的に物事を吸収する生き生きとした姿とは、なんとかみ合わないものかと残念です。

保護者の声（朝霞市 石川啓子）

私服警察官が 県議会傍聴者を監視



12月17日の文教委員会の傍聴受付フロアで、私服警察官が傍聴者を監視していたことが発覚。20日には、党県議団と傍聴者は声明を発表し、記者会見を開きました。

同日、党県議団は細田県議会議長に県警への警備要請の廃止を申し入れ。県警警備課長にも全容の報告を求め抗議しましたが、申し入れ文の受け取りは拒否されました。

⑥ 県立高校の教科書採択



校長を招集 異例の調査

追跡 2013

教科書採択に際して、委員会の傍聴者や記者が、校長を招集して調査を行った。これは、県立朝霞高校の教科書採択に関する調査の一環として行われた。委員会は、校長に対して、採択された教科書の内容や、生徒の感想文の内容について詳しく説明を求めた。校長は、採択された教科書の内容や、生徒の感想文の内容について詳しく説明を行った。

強まる政治的な圧力

◆委員の語録

鈴木正人委員（刷新）「(卒業式ボイコットが発生した)当時の所沢高校のPTA会長が、同教科書の執筆者である(中略)卒業式をボイコットしようと子供たちを扇動する人が執筆者である教科書をどう思うか」(9月2日の文教委)

田中千裕委員（自民）「(教科書採択は)教育委員会で決めたことなのに、現場を重視して、現場の意見を取り入れたという話から、それはおかしいのではないかとこのことになっている」(9月13日の文教委)

◆柳下の意見

教育は子どもが主人公です。現場の教師が生き生きと自由に子どもと語り合い学びあうことが大切です。県議会は教育現場の自主性を尊重し、もっと教育環境の整備を進めるよう努力しなければなりません。

* 所沢在住 有識者の声 *

文教委と安倍内閣の暴走は異常

昨年9月の閉会中審査に始まる県議会文教委員会の一部議員（自民党、刷新の会など）を中心とする動きは、安倍内閣の暴走とともに異常というほかはありません。その暴挙は、ついには県立朝霞高校の台湾修学旅行に参加した生徒の感想文提出を強要するまでにいたりました。日本共産党埼玉県議団が的確に指摘しているように、それは生徒の内心の自由、表現の自由を侵すものです。子どもの人権、真理・真実を学ぶ権利を保障するために、県民の良識によって その暴挙を包囲していきたいと思えます。教育研究者 藤田昌士

乱暴な教育介入に驚きと憤り

文教委員会の乱暴な教育介入に驚きと憤りを感じます。本来教育は、子どもの内面的価値に関する文化的な営みであって、党派的な政治的観念や利害によって支配されてはならないと最高裁も述べています。

教育は、子どもが自ら成長発達するために行われるものであり、大人が一方的な観念を押しつけ得るものではありません。文教委員会による朝霞高校への介入は教育への不当な支配であって許されません。弁護士 小林善亮

医学部設置「総合病院誘致のための 基準病床見直しに全力」知事

党県議団と党県委員会は11月6日、上田清司埼玉県知事に「2014年度埼玉県の施策並びに予算編成に対する重点要望・提案」を手渡し、懇談しました。私は、医師数が人口比で全国最低という埼玉県の医師不足を解消するた

め、県立大学への医学部設置に県の総力をあげるべきだと要請。上田知事は、医学部設置のために必要となる付属の総合病院を誘致する前提として、病床基準制度の見直しに全力をあげると答えました。



少人数学級をもとめる 請願などが不採択に

12月定例会は一般会計補正予算など28件の知事提出議案と8件の議員提出議案を審議、可決同意しました。(党は28件に賛成) そのほか県民より3件の請願が提出されました。各党の態度は以下の通りです。

	採択結果	共産	自民	民主	公明	刷新	社民
教育費負担の公私間格差をなくす請願	不採択	●	×	×	×	×	○
秘密保護法の廃止を求める意見書を求める請願	不採択	●	×	×	×	×	○
少人数学級などを求める請願	不採択	●	×	×	×	×	○

○採択を求める ×不採択を求める